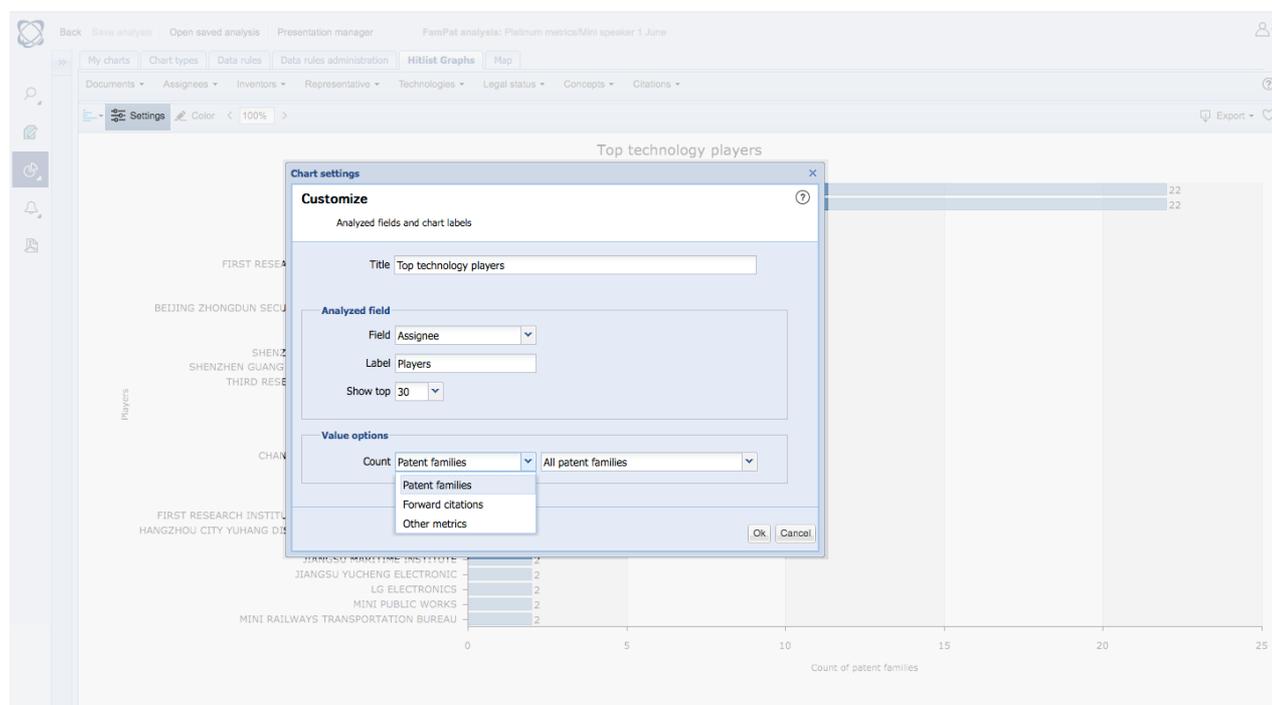


保存された分析に関するメトリクス定義まとめ

概要

カウントの仕方が異なる以下3つの方法から選択可能です。

1. 特許ファミリー (Patent families)
2. 前方引用 (Forward citations)
3. その他のメトリクス (Other metrics)



1. 特許ファミリー (Patent families)

このメトリクスはシンプルに特許ファミリーのカウントをベースにしたもので、以下の制限に基づき表示を変えることができます。

リーガルステイタスによる制限

- リーガルステイタスが「生」である特許ファミリーのカウント
- リーガルステイタスが「審査中」である特許ファミリーのカウント
- リーガルステイタスが「付与」である特許ファミリーのカウント
- リーガルステイタスが「死」である特許ファミリーのカウント

イベントタイプによる制限

- 訴訟となっている特許ファミリーのカウンント
- 異議申請となっている特許ファミリーのカウンント
- ライセンスされた特許ファミリーのカウンント
- 標準規格必須特許（SEPs - Standard Essential Patents）として標準で引用された特許ファミリーのカウンント

その他の基準による制限

- 捕食者となる存在を持つ特許ファミリーのカウンント
- シャークとなる存在を持つ特許ファミリーのカウンント
- 防衛フェンスを構築したものを持つ特許ファミリーのカウンント
- 前方引用数が極めて高い特許ファミリーのカウンント
- IPC クラスの分散度が極めて高い特許ファミリーのカウンント
- 共同譲受人を持つ特許ファミリーのカウンント

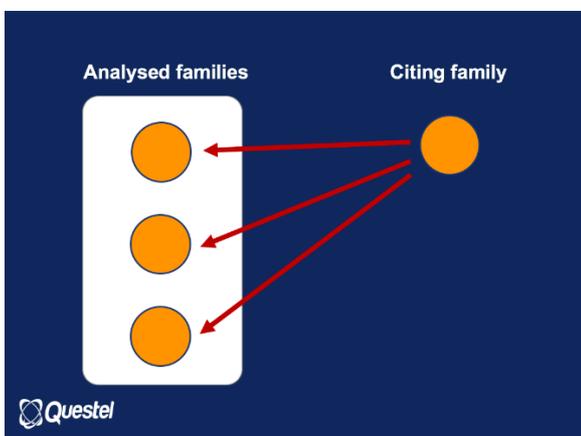
2. 前方引用

グラフ上で示された特許ファミリー内で前方引用に利用された数をベースにしたもの。

- 全ての前方引用数
- 自己前方引用数
- 非自己引用数
- 最近の前方引用数
- 最近の自己前方引用数
- 最近の非自己前方引用数

「重複引用（duplicate citations）」を理解する

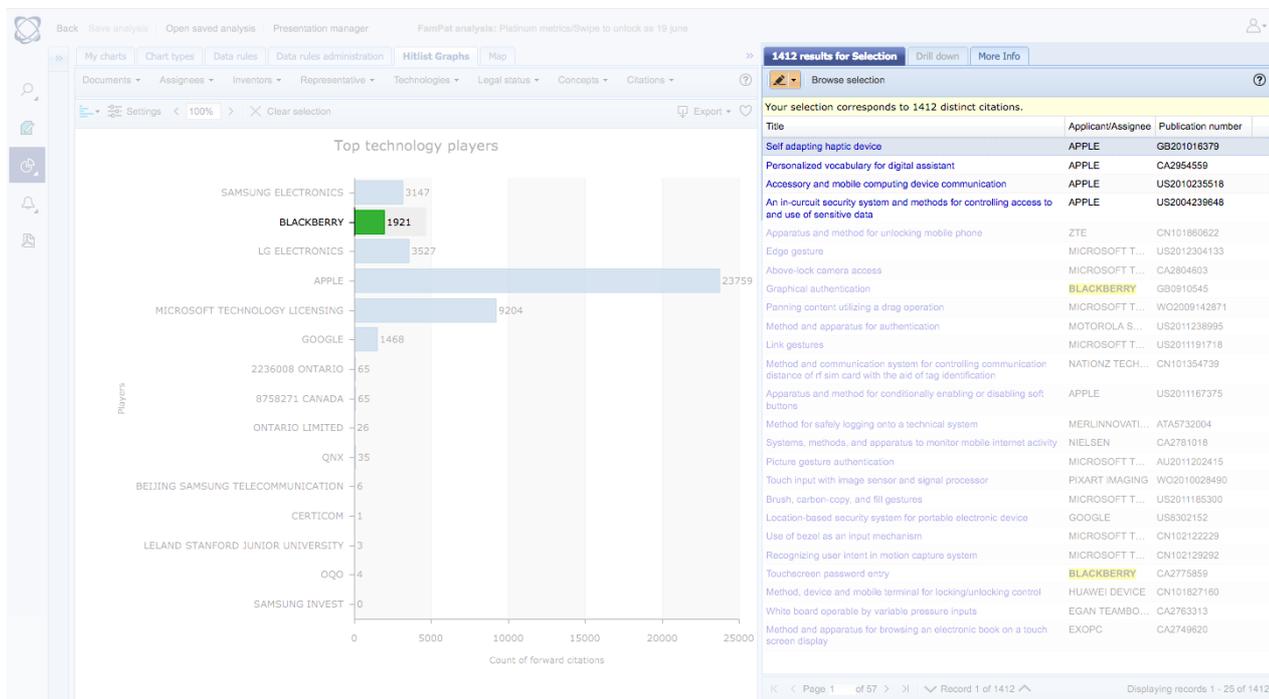
分析モジュール内における引用カウンントと評価モジュールのそれと数が異なることに気づいた方もいるかも知れません。これは、引用の数え方とまとめ方の論理が異なるからです。この違いについて理解するためには、まずは「重複引用（duplicate citations）」の概念を理解しましょう。



上の図の例では、評価モジュールにおける前方引用数の合計は1とカウンントされます。3つの個々のファミリーが分析に含まれていても、重複とみなされるものは数えないため、件数は1となります。

一方、保存された分析における同例のカウントは、重複したものも含めて、引用されたそれぞれのファミリーを1つずつ数えて合計するので、1ではなく3となります。

このように、評価モジュール上では重複引用をカウントしないため、リスト上の合計引用数とグラフ上で表示される合計引用数がいつも一致するとは限りません。



注：色分けとドリルダウンのオプションは引用チャート上では利用不可。

3. その他のメトリクス

特許ファミリー及び前方引用以外のカウント方法は以下がある。

- 過去5年にわたる新しいファミリーの申請速度
- ファミリーサイズの平均
- 地理的カバー範囲の平均
- ジェネラリティ指標（対象の特許出願を引用する特許出願が分布する技術分野）スコアの平均
- オリジナリティ指標スコアの平均
- ラディカルネス指標スコアの平均
- 平均年齢
- 第一請求項/主要請求項の長さの平均
- IPC カウントの平均

上述の「その他のメトリクス」を使ってチャートをディスプレイしている場合は、色づけ機能は使用不可能ですが、場所を選択してドリルダウンすると全てのレコードが閲覧可能です。例えば、IBM 社の請求項の平均の長さを棒グラフで表示している際に一つのバーを選択してクリックすると、その対象となっている特許ファミリーのリストが右側に表示されます。

アクセス

上述のメトリクスはプラチナムレベルのアクセスを持つユーザーのみ利用可能なプレミアム機能です。以下のグラフやチャートが保存された分析（saved analysis）のセクションにて表示されます。

- 棒グラフ
- パイチャート
- バブルチャート/ヒートマップ
- ワールドマップ
- ヘキサゴンチャート
- タグ・クラウド
- 板状棒グラフ

上記メトリクスを計算するのに必要なデータは WorkFiles 内に保存不可能なことから、これらのメトリクスは WorkFiles 上で保存された分析結果には利用できません。

定義テーブル

タイプ	サブタイプ	メトリック	定義
特許ファミリー		全ての特許ファミリー	
特許ファミリー	リーガルステイタス	生	
特許ファミリー	リーガルステイタス	審査中	
特許ファミリー	リーガルステイタス	付与	
特許ファミリー	リーガルステイタス	死	
特許ファミリー	イベント	訴訟	
特許ファミリー	イベント	異議申請	
特許ファミリー	イベント	ライセンス	
特許ファミリー	イベント	標準にて引用	
特許ファミリー	その他	捕食者となる存在を持つ	前方引用（最低 2 つ）の 15%以上 30%未満が譲受人と同じエンティティではない。
特許ファミリー	その他	シャークとなる存在を持つ	前方引用（最低 3 つ）の 30%以上が譲受人と同じエンティティではない特許ファミリーの数。

特許ファミリー	その他	防衛フェンスを構築したもの	単独のエンティティであり同じ譲受人である前方引用の 30%以上（最低 3 件以上）の特許ファミリー件数。
特許ファミリー	その他	前方引用数が極めて高い	前方引用数が標準偏差が平均プラス 3 を超える特許ファミリーの件数。平均は分析の結果から出している。
特許ファミリー	その他	IPC クラスの分散度が極めて高い	異なる IPC/CPC サブクラス(例：H04G) の件数の標準偏差が平均プラス 3 を超える特許ファミリーの件数。平均は分析されるセット全てから出される。
特許ファミリー	その他	共同譲受人を持つ	複数の譲受人を持つ特許ファミリーの件数。
前方引用		引用全て	ファミリーレベルで引用数を数えて合計した引用ファミリー数。
前方引用		自己引用	ファミリーレベルで自己引用数を数えて合計した引用ファミリー数。
前方引用		非自己引用	ファミリーレベルで非自己引用数を数えて合計した引用ファミリー数。
前方引用		最近の引用	出願日が過去 5 年の間である前方引用件数。
前方引用		最近の非自己引用	出願日が過去 5 年の間である非自己引用件数。
前方引用		最近の自己引用	出願日が過去 5 年以内である自己引用件数。
その他		速度	過去 5 年間で一番早い出願日を持つファミリー件数を 5 で割ったもの。
その他		ファミリーサイズ	各特許ファミリー内における付与または出願の平均。
その他		地理的カバー範囲	BRIC とティア 1 特許所管当局 (US, JP, DE, FR, BR, IN, CN, KR, AU, TW, RU) において特許の保護が申請中または付与されるまでの平均時間。
その他		オリジナリティ指標	値の幅が 0 と 1 の間。各特許ファミリーのスコアが計算を計算した上で平均を出している。引用された IPC/CPC サブクラスの幅が広いほどスコアが高い。2001 年に Hall Jaffe と Trajtenberg によって定義づけされたもの。
その他		ジェネラリティ指標	値の幅が 0 と 1 の間。各特許ファミリーのスコアが計算を計算した上で平均を出している。引用された IPC/CPC サブクラスの幅が広いほどスコアが高い。2001 年に Hall Jaffe と Trajtenberg によって定義づけされたもの。
その他		ラディカルネス指標	値の幅が 0 と 1 の間。各特許ファミリーのスコアが計算を計算した上で平均を出している。ラディカルネスの計算はオリジナリティ（引用された IPC/CPC サブクラスの幅が広いほどスコアが高い）に似ているが、ラディカルネスでは分析されたファミリー内でリストされたサブクラスはカウントに入っていない。2001 年に Shane によって定義づけされたもの。
その他		年齢	一番早い公開以降の特許ファミリーごとの平均年齢
その他		請求項の長さ	最初の独立請求項内で重複されていない単語の数。特許ファミリーごとに計算され平均を出したもの。
その他		IPC カウント	特許ファミリーごとの異なる IPC/CPC サブクラス（例：H04G）の平均値。

